

無線 LAN
JRL-710/720 シリーズ
ファームウェアバージョンアップマニュアル

Global Communications

 **日本無線株式会社**

<http://www.jrc.co.jp>

目次

1. バージョンアップをする前に.....	2
1. 1 用意するもの.....	2
1. 2 接続の確認.....	2
2. バージョンアップ手順.....	5

本書は、無線 LAN JRL-710/720 シリーズのファームウェアをバージョンアップするための操作マニュアルです。

1. バージョンアップをする前に

1. 1 用意するもの

作業用 PC (Windows XP / 2000、ネットワーク I/F あり、VB スクリプト実行可能)

・バージョンアップ用ファイル

[update_init フォルダ]

 jrl-710_system.bin

 put.cmd

 start.bat

 update.vbs

[update_new フォルダ]

 jrl-710_2nd.bin

 jrl-710_file1.bin

 jrl-710_system.bin

 put.cmd

 start.bat

 update.vbs

1. 2 接続の確認

ファームウェアのバージョンアップを開始する前に、無線 LAN と作業用 PC がネットワークで正しく接続され通信できることを確認してください。

・接続例

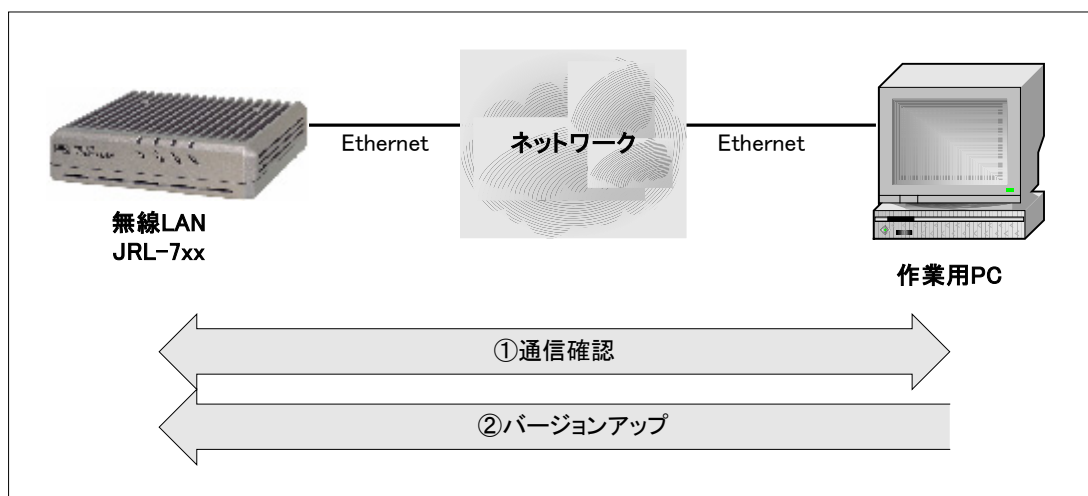


図 1-2-1. 接続例

・通信確認

作業用 PC のコマンドプロンプトから「ping コマンド」を実行し、無線 LAN と正しく通信できることを確認してください。

Windows2000 の場合、[スタート] メニューから [プログラム (P)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択してください。

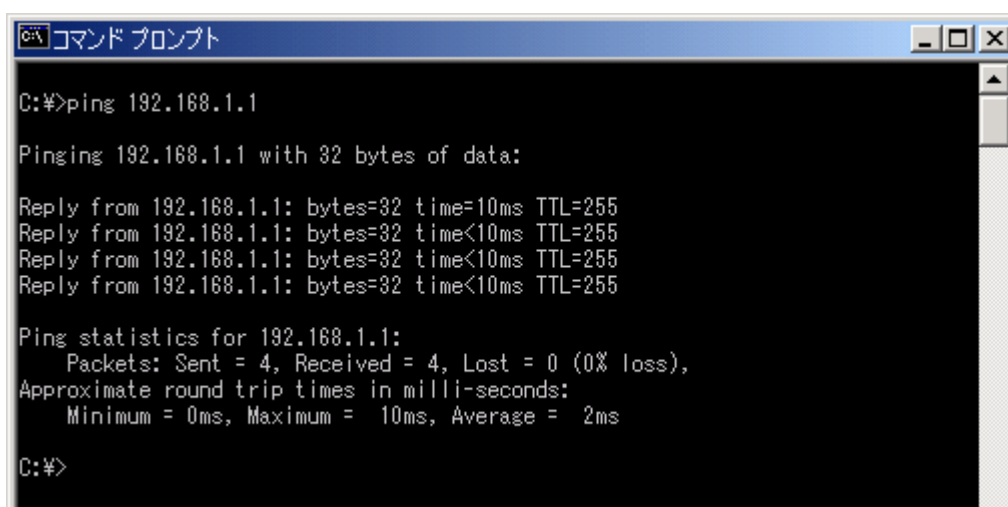
WindowsXP の場合、[スタート] メニューから [すべてのプログラム (P)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択してください。

(IP アドレスが「192.168.1.1」の場合)

コマンドプロンプト画面で“ping 192.168.1.1” と入力してください。

※「192.168.1.1」は無線 LAN のデフォルト IP アドレスです。IP アドレスを変更している場合は、適宜読みかえてください。

正しく通信できると、下図のような応答が表示されます。



```
コマンド プロンプト
C:\#>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

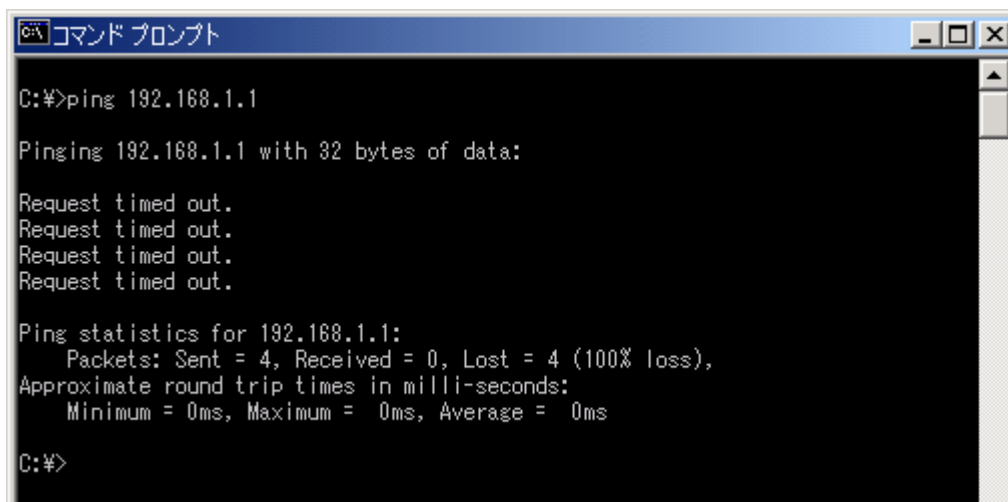
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time=10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 10ms, Average = 2ms

C:\#>
```

図 1-2-2. ping による通信確認—正しく通信できる場合

正しく通信できない場合、下図のような応答が表示されます。



```
コマンド プロンプト
C:\>ping 192.168.1.1

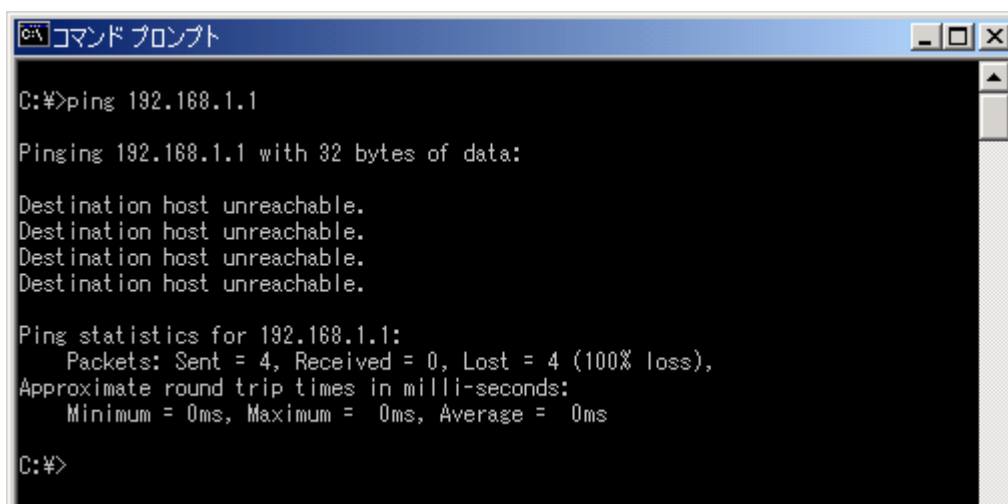
Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\>
```

図 1-2-3. ping による通信確認—正しく通信できない場合 1



```
コマンド プロンプト
C:\>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Destination host unreachable.
Destination host unreachable.
Destination host unreachable.
Destination host unreachable.

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\>
```

図 1-2-4. ping による通信確認—正しく通信できない場合 2

正しく通信できない場合は、無線 LAN の「E-LINK」LED 状態や、コンピュータの IP アドレス等を確認してください。

2. バージョンアップ手順

ご使用の無線 LAN に書き込まれているファームウェアバージョンにより、バージョンアップ手順が異なります。

⚠ 注意

また、バージョンアップ後の無線 LAN 設定に関して、IP アドレス設定のみ引き継がれますが、それ以外の設定は工場出荷設定に戻ります。再度設定を行ってからご使用ください。

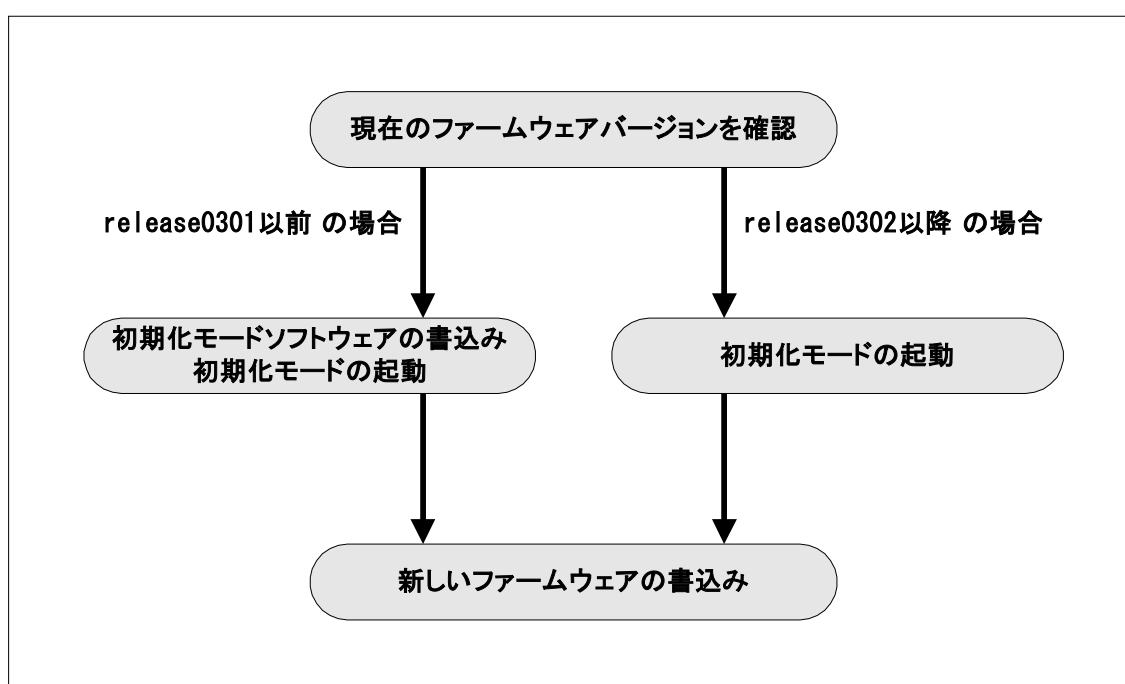


図 2. バージョンアップの流れ

初期化モードとは、ファームウェアをバージョンアップするための動作モードです。このモードでは、無線 LAN の「W-LINK」LED が 1 秒間隔で低速点滅します。

以降の手順にしたがって、バージョンアップを行ってください。

【手順 1】：

現在のファームウェアバージョンを確認する手順です。

作業用 PC から無線 LAN の IP アドレスに対して、telnet ログインします。

(IP アドレスが「192.168.1.1」の場合)

コマンドプロンプト画面で“telnet 192.168.1.1”と入力してください。

※「192.168.1.1」は無線 LAN のデフォルト IP アドレスです。IP アドレスを変更している場合は、適宜読みかえてください。

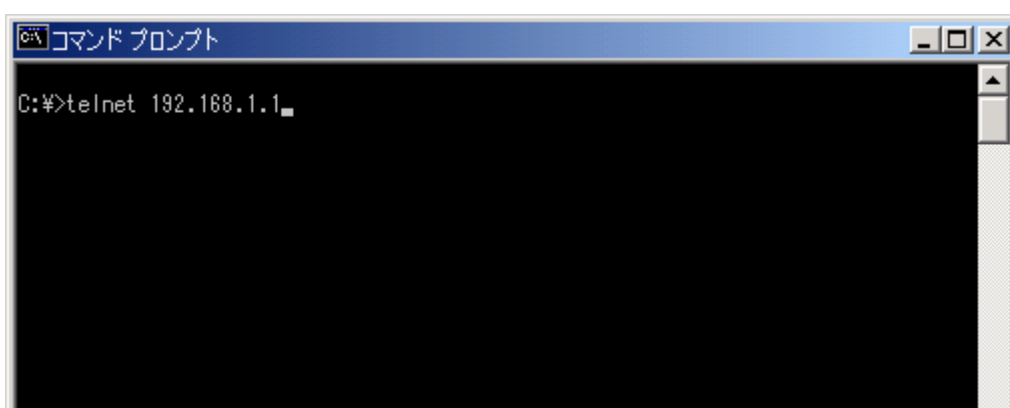


図 2-1. telnet 実行

【手順 2】：

ログイン画面では、ユーザ名「admin」とパスワードを入力してください。

※工場出荷時、「admin」アカウントのパスワードは「admin」です。

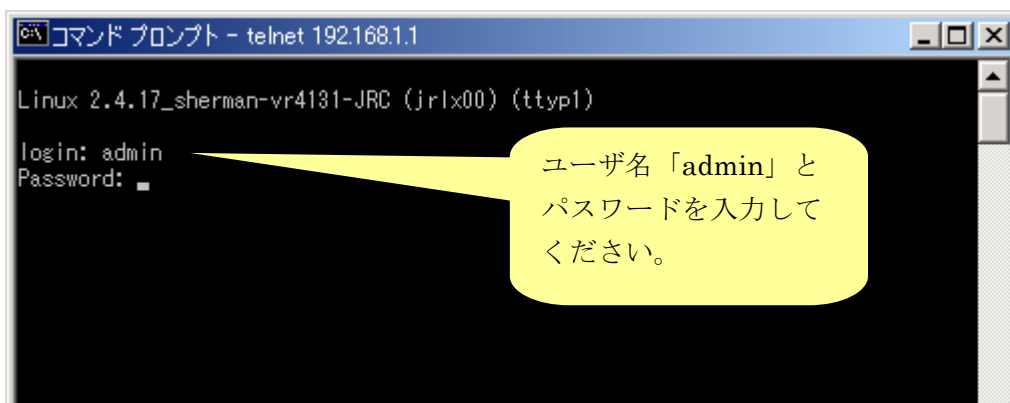


図 2-2. ログイン画面

【手順 3】：

ログインに成功すると、Command Line Utility のメニュー画面が表示されます。
メニューの 1 行目に現在のファームウェアバージョン番号が表示されます。

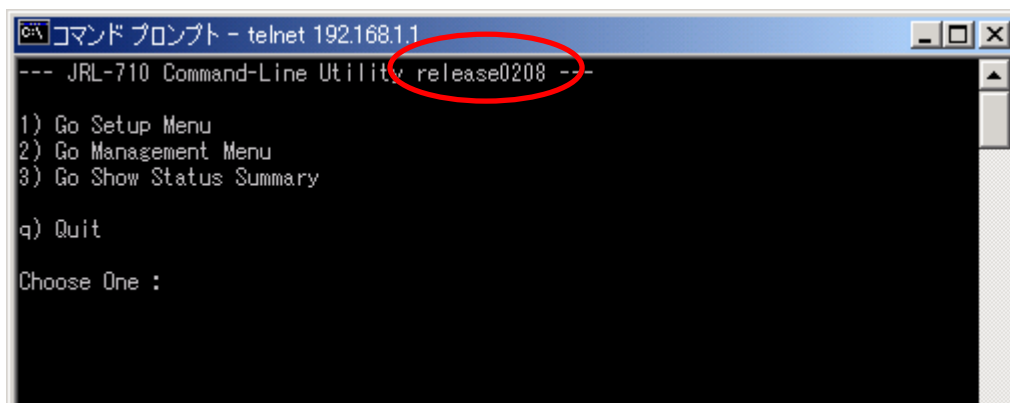


図 2-3. Command Line Utility のメニュー画面

ここで、表示されるファームウェアバージョンにより、以降の手順が異なります。

- ・ “release0301” 以前の場合、【手順 4】にお進みください。
- ・ “release0302” 以降の場合で、
初期化モードソフトウェアの更新が不要ならば【手順 9】にお進みください。
初期化モードソフトウェアの更新が必要ならば【手順 4】にお進みください。

【手順 4】：

初期化モードのソフトウェアを書込み・起動する手順です。

作業用 PC 上で、update_init フォルダを開き、「update.vbs」を実行してください。

※「update.vbs」は VB スクリプトです。作業用 PC が VB スクリプトを実行可能な必要
があります。

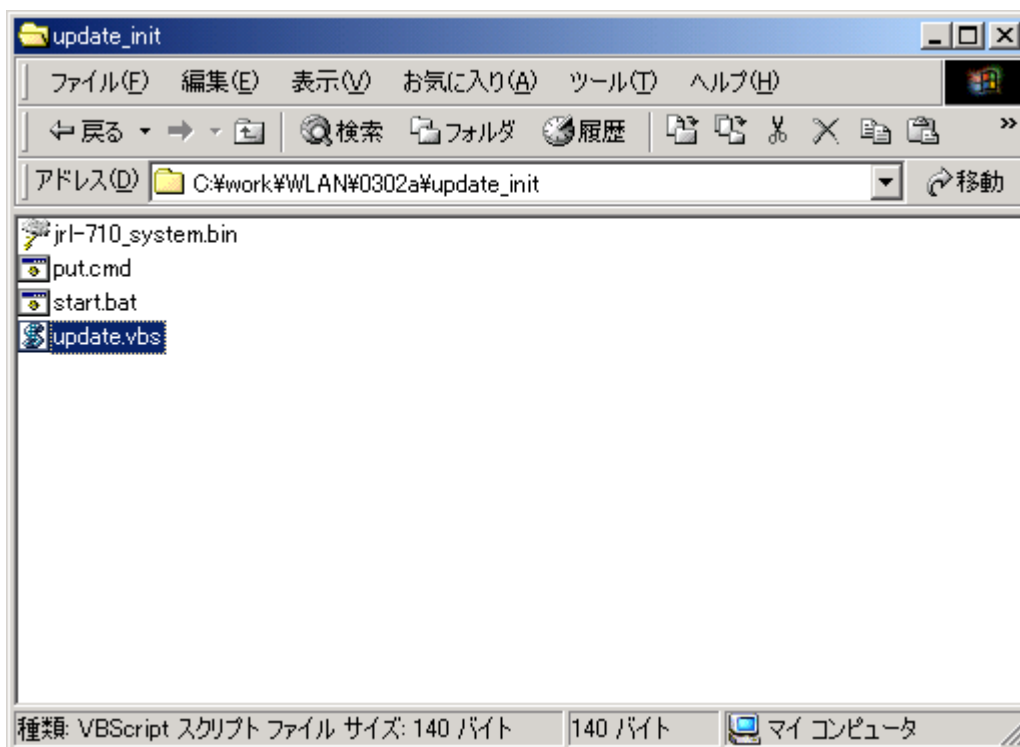


図 2-4. update_init フォルダ画面

【手順 5】：

表示されたダイアログに無線 LAN の IP アドレスを入力し、「OK」ボタンを押してください。

自動的にバージョンアップの準備に必要なファイルが無線 LAN に転送されます。

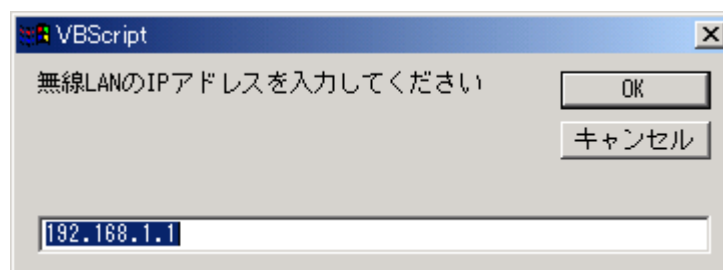


図 2-5. update.vbs 実行 画面

【手順 6】：

先ほどの telnet 画面に戻り、Command Line Utility メニュー画面上で「2」を入力し、Management メニューを表示してください。

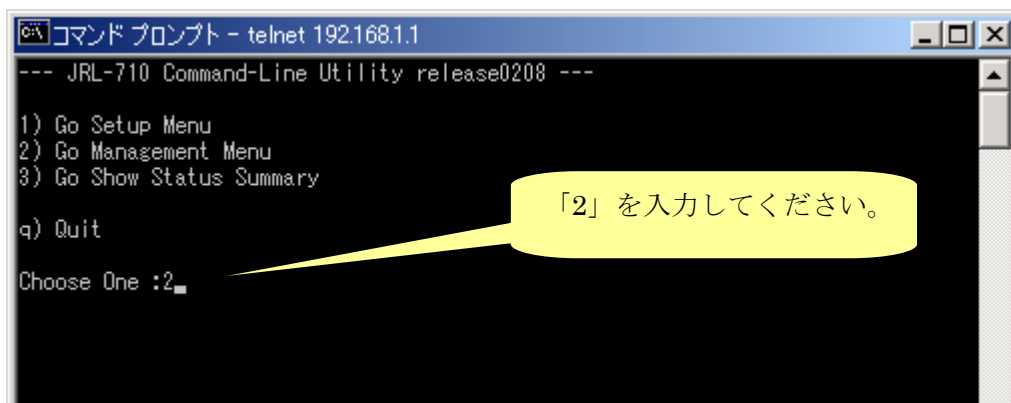


図 2-6. Command Line Utility のメニュー画面

【手順 7】：

Management メニュー画面上で「3」を入力し、Version Up 画面を表示してください。

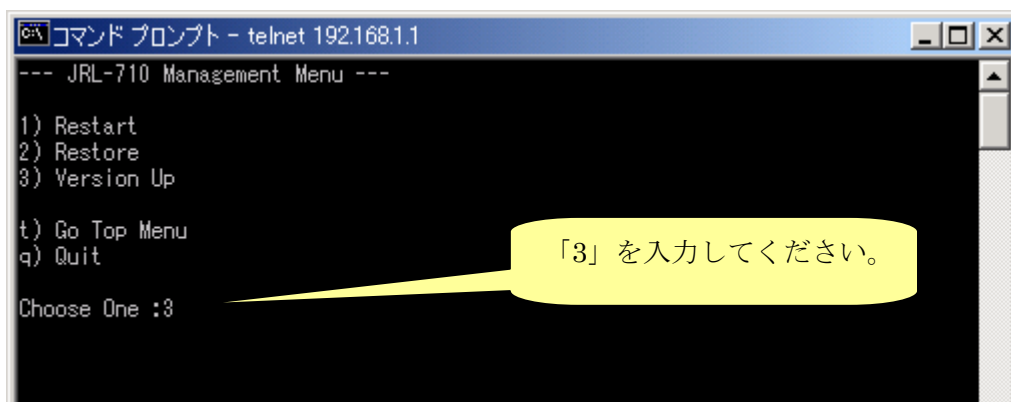
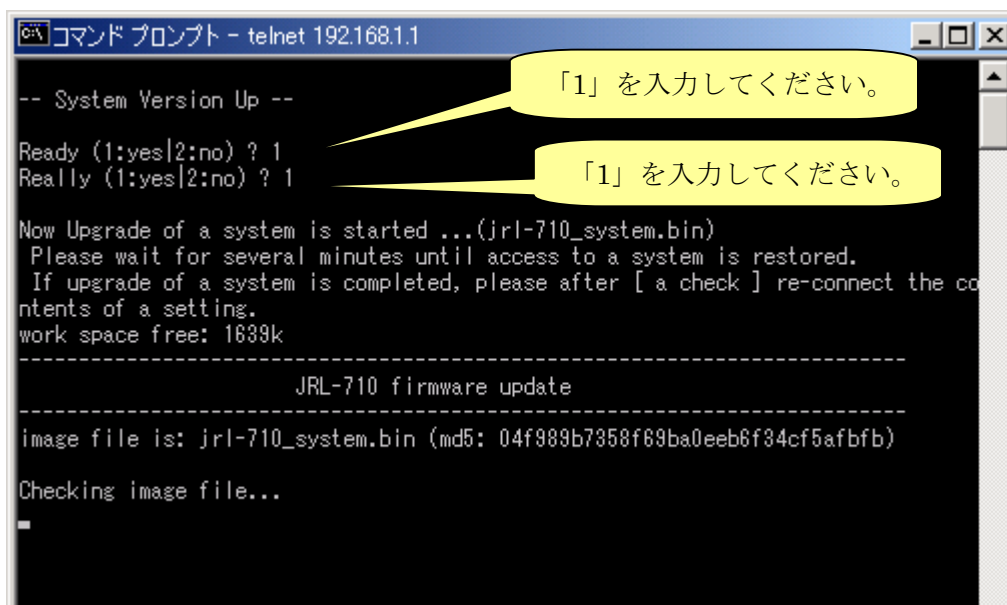


図 2-7. Management メニュー画面

【手順 8】：

対話メニューに答え、先ほど無線 LAN に転送したファイルの書き込みを行います。
書き込みには2分ほどかかります。



```
コマンドプロンプト - telnet 192.168.1.1
-- System Version Up --
Ready (1:yes|2:no) ? 1
Really (1:yes|2:no) ? 1
Now Upgrade of a system is started ... (jrl-710_system.bin)
Please wait for several minutes until access to a system is restored.
If upgrade of a system is completed, please after [ a check ] re-connect the co
ntents of a setting.
work space free: 1639k
-----
JRL-710 firmware update
-----
image file is: jrl-710_system.bin (md5: 04f989b7358f69ba0eeb6f34cf5afbfb)
Checking image file...
-
```

図 2-8-1. ファイルの書き込み画面

ファイルの書き込みが完了した後、「Enter」キーを押してください。


これにより、無線 LAN は初期化モードで再起動します。

(再起動には、約 30 秒程かかります。)

初期化モードとは、ファームウェアをバージョンアップするための動作モードです。

このモードでは、無線 LAN の「W-LINK」LED が 1 秒間隔で低速点滅します。

次は、【手順 12】にお進みください。



```
コマンドプロンプト - telnet 192.168.1.1
Now Upgrade of a system is started ...(jrl-710_system.bin)
Please wait for several minutes until access to a system is restored.
If upgrade of a system is completed, please after [ a check ] re-connect the co
ntents of a setting.
work space free: 1639k
-----
JRL-710 firmware update
-----
image file is: jrl-710_system.bin (md5: 04f989b7358f69ba0eeb6f34cf5afbfb)

Checking image file...
Extracting image file...
Starting update...

Installing kernel...
Preparing...
Remounting...
Clearing environments...
Writing( bytes)...
OK
Synching...

--- Update successfully completed ---
Removed image file.

[PRESS ENTER to REBOOT]
```

図 2-8-2. ファイルの書き込み完了 画面

【手順 9】：

初期化モードを起動する手順です。

メニュー画面上で「2」を入力し、Management メニューを表示してください。

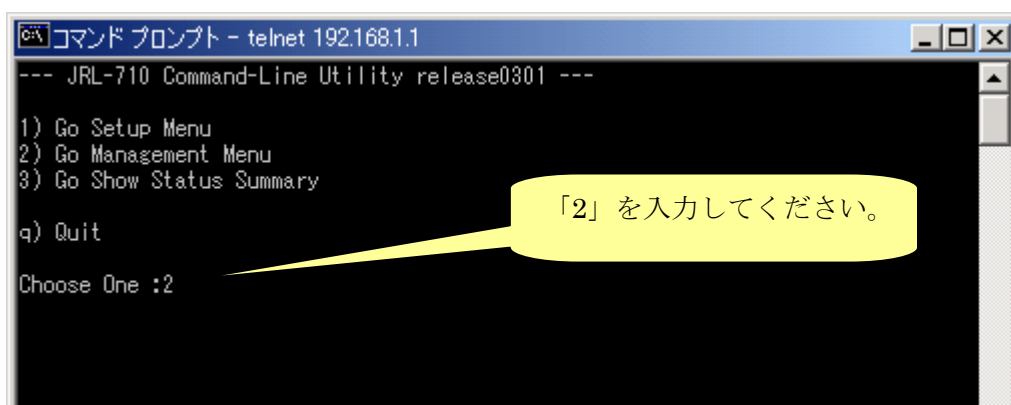


図 2-9. Command Line Utility のメニュー画面

【手順 10】：

Management メニュー画面上で「4」を入力し、Restart Init 画面を表示してください。

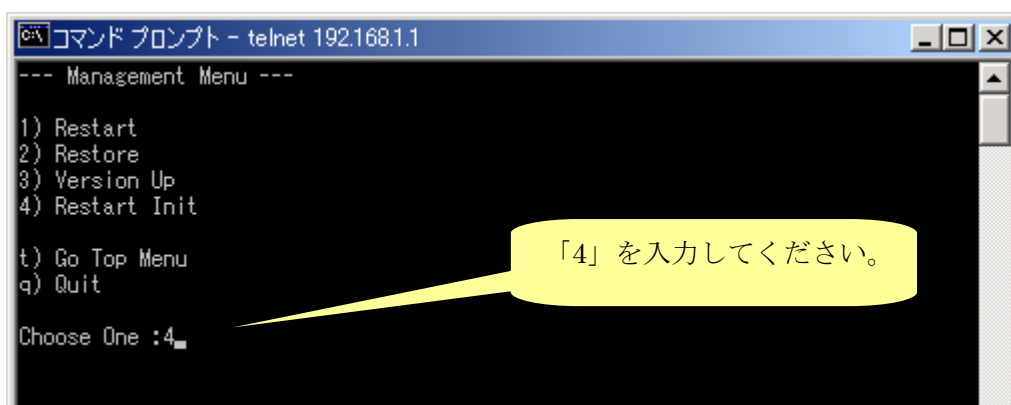


図 2-10. Management メニュー画面

【手順 11】:

対話メニューに答え、無線 LAN を初期化モードで再起動します。

(再起動には、約 30 秒程かかります。)

初期化モードとは、ファームウェアをバージョンアップするための動作モードです。

このモードでは、無線 LAN の「W-LINK」LED が 1 秒間隔で低速点滅します。

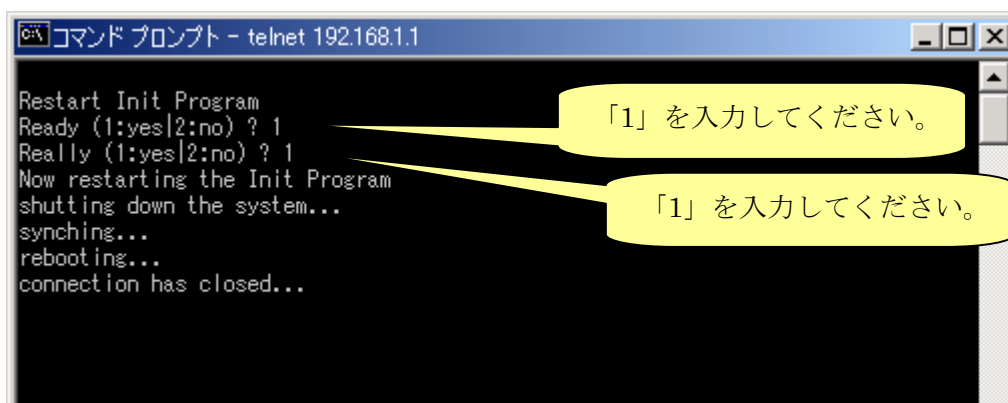


図 2-11. Restart Init 画面

【手順 12】:

ここまでの手順により、無線 LAN が初期化モードで起動しています。

⚠ 注意

初期化モードで起動していない場合は、以降の手順に進まないでください。

これより、新しいファームウェアを書き込む手順です。

作業用 PC 上で、update_new フォルダを開き、「update.vbs」を実行してください。

※「update.vbs」は VB スクリプトです。作業用 PC が VB スクリプトを実行可能な必要があります。

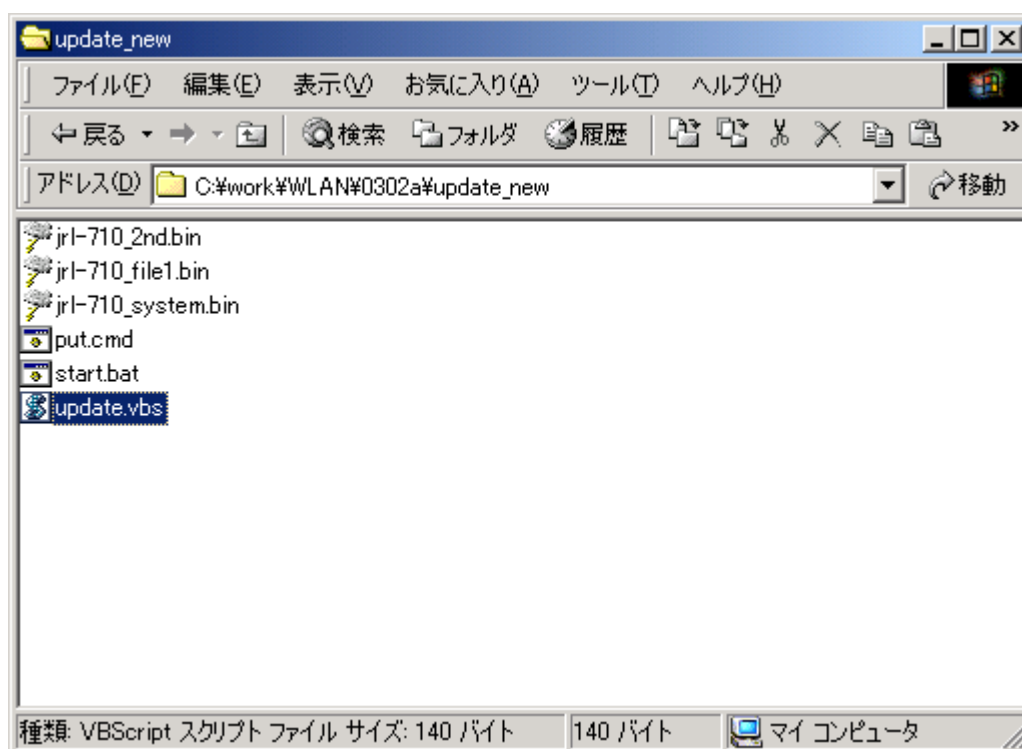


図 2-12. update_new フォルダ画面

【手順 13】:

表示されたダイアログに無線 LAN の IP アドレスを入力し、「OK」ボタンを押してください。

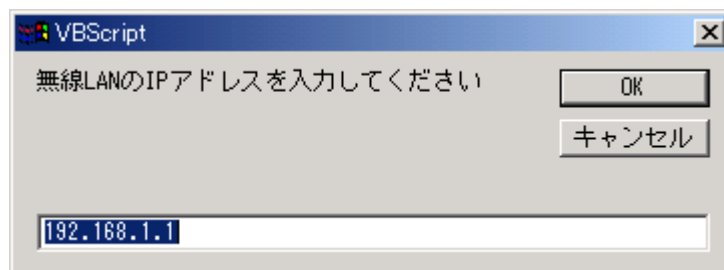


図 2-13. update.vbs 実行 画面

自動的にプログラムファイルの転送、およびバージョンアップが行われます。
バージョンアップ中は、無線 LAN の「W-LINK」LED が 0.5 秒間隔で高速点滅します。
(バージョンアップには、約 4 分程かかります。)

バージョンアップ完了後、自動的に新しいファームウェアで再起動します。
(再起動には、約 30 秒程かかります。無線 LAN の「W-LINK」LED の点滅は終了します。)

最後に、無線 LAN の IP アドレスに対して telnet ログインし、新しいバージョンに更新されたことをご確認ください。

⚠ 注意

バージョンアップ後の無線 LAN 設定に関して、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ設定は引き継がれますが、それ以外の設定は工場出荷設定に戻ります。再度設定を行ってからご使用ください。



<http://www.jrc.co.jp>
(無断複製・転載を禁ずる)

本書は森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

第 1.1 版 2006 年 1 月

編 者 日本無線株式会社
発行者 日本無線株式会社

〒181-8510 東京都三鷹市下連雀 5-1-1
通信機器品質保証部カスタマーサービス課
E-mail : wlan_support@m1.jrc.co.jp
TEL : 0422-45-9578 FAX : 0422-45-9104
